

平成30年度
全国学力・学習状況調査結果
～概要と課題、そして改善に向けて～

平成30年11月
稚内市教育委員会

— 目 次 —

1	調査の概要	1
2	調査結果	3
	(1) 学力調査（調査問題）	3
	① 小学校国語A（主として知識）	3
	② 小学校国語B（主として活用）	5
	③ 小学校算数A（主として知識）	7
	④ 小学校算数B（主として活用）	10
	⑤ 小学校理科	13
	⑥ 中学校国語A（主として知識）	16
	⑦ 中学校国語B（主として活用）	20
	⑧ 中学校数学A（主として知識）	22
	⑨ 中学校数学B（主として活用）	27
	⑩ 中学校理科	30
	(2) 学習状況調査（質問紙調査）	35
	(3) 質問紙調査票の項目と正答率との関係	41
	(4) 学校調査（質問紙調査）	42
3	小中学校の状況及び学力向上策	44

1 調査の概要

(1) 調査の目的

- ① 国が、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析することにより、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ② 各教育委員会や学校等が、全国的な状況との関係において、教育及び教育施策の成果と課題を把握・分析し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- ③ 各学校が、児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

(2) 調査の対象とする児童生徒

稚内市立学校の以下の学年を、原則として全児童生徒を対象に実施した。

【小学校調査】 小学校第6学年

【中学校調査】 中学校第3学年

(3) 調査事項及び手法

① 教科に関する調査（国語、算数・数学、理科）

[主として「知識」に関する問題（A）]

身につけておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり、常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能 など

[主として「活用」に関する問題（B）]

知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力 など

- ・国語A、算数・数学A：主として「知識」に関する問題を中心とした出題
- ・国語B、算数・数学B：主として「活用」に関する問題を中心とした出題
- ・理科：主として「知識」に関する問題と主として「活用」に関する問題を一体的に出題

② 質問紙調査

[児童生徒に対する調査]

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

[学校に対する調査]

指導方法等に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

(4) 調査日時・回答児童生徒数

平成30年4月17日（火）

【小学校調査】

1 時限目	2 時限目	3 時限目	
266 名	266 名	266 名	266 名
国語 A (20 分) 算数 A (20 分)	国語 B (40 分)	算数 B (40 分)	児童質問紙 (20 分)

【中学校調査】

1 時限目	2 時限目	3 時限目	4 時限目	
247 名	247 名	247 名	247 名	247 名
国語 A (45 分)	国語 B (45 分)	数学 A (45 分)	数学 B (45 分)	生徒質問紙 (20 分)

(5) 留意事項

本調査は、幅広く児童生徒の学力や学習状況を把握することを目的として実施しておりますが、実施教科が国語、算数・数学の2教科のみであることや、必ずしも学習指導要領全体を網羅するものでないことから、本調査の結果については、児童生徒が身につけるべき学力の特定の一部であることを留意することが必要です。

本調査の結果については、個々の設問や領域等に着目して学習指導上の課題を把握・分析し、児童生徒一人ひとりの学習改善や学習意欲の向上につなげることが重要です。

調査結果の分析については、本市の正答率によって、次のとおり整理しています。

正答率 80%以上	★★★★★	(達成)
60%以上 80%未満	★★★★	
50%以上 60%未満	★★★	
50%未満	★	

また、全国の正答率に加え、さらに本市との比較を次のとおり表記しています。

全国の正答率に対し、

5ポイントを超えて低い	▼▼	(下回っている)
5ポイント以内のマイナス	▼	(ほぼ同程度-やや下回っている)
5ポイント以内のプラス	△	(ほぼ同程度-やや上回っている)
5ポイントを超えて高い	△△	(上回っている)

質問紙調査では、「している」「どちらかといえばしている」と回答した児童生徒の割合が80%を超えたものを「高い傾向」、60%未満のものを「低い傾向」と分類しています。

平成30年度全国学力・学習状況調査の調査問題と質問調査の内容は、国立教育政策研究所のホームページに掲載されています。

<http://www.nier.go.jp/kaihatsu/zenkokugakuryoku.html>

2 調査結果

(1) 学力調査（調査問題）

① 小学校国語 A(主として知識)

【学習指導要領の領域別集計結果】

区 分	正答率 (%)		
	稚内市	全国	全国との比較
話すこと・聞くこと	★★★★	90.8	▼
書くこと	★★★	73.8	▼
読むこと	★★★	74.0	▼
言語事項	★★★	67.0	▼▼

【設問別集計結果】

設問 番号	設問の概要	出題の趣旨	正答率 (%)		
			稚内市	全国	全国との比較
1	図書館への行き方の説明として適切なものを選択する	相手や目的に応じ、自分が伝えたいことについて、事例などを挙げながら筋道を立てて話す	★★★★	90.8	▼
2	物語を書くときの構成の工夫の説明として適切なものを選択する	自分の想像したことを物語に表現するために、文章全体の構成の効果を考える	★★★	73.8	▼
3	【オムレツを作ったあとの感想】を踏まえ、【オムレツのページ】をどのように読めばよいか、適切なものを選択する	目的に応じて必要な情報を捉える	★★★	73.9	▼
4	『くらやみの物語』を読んで心に残ったことを一文を取り上げて説明する際に、その一文が心に残った理由として適切なものを選択する	登場人物の心情について、情景描写を基に捉える	★★★	74.0	▼▼
5	【春休みの出来事の一部】の中で、つながりが合っていない文を選択し、正しく書き直す	文の中における主語と述語との関係などに注意して、文を正しく書く	★	35.5	▼▼
6	慣用句の意味と使い方として適切なものを選択する（心を打たれる）	日常生活で使われている慣用句の意味を理解し、使う	★★★★	90.4	▼
7	【話を聞いている様子の一部】の <input type="checkbox"/> ア、 <input type="checkbox"/> イに入る内容の組み合わせとして適切なものを選択する	相手や場面に応じて適切に敬語を使う	★	56.0	▼▼
8ア	文の中で漢字を使う（ <u>せい造</u> ）	学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う	★★★	73.4	△
8イ	文の中で漢字を使う（ <u>せつ備</u> ）	学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う	★★★★	82.2	△

設問 番号	設問の概要	出題の趣旨	正答率 (%)		
			稚内市	全国	全国との比較
8ウ	文の中で漢字を使う (しょう毒)	学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う	★★★	82.2	▼▼
8エ	文の中で漢字を使う (かん理)	学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う	★★★	65.0	▼
8オ	文の中で漢字を使う (せつ極的)	学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う	★	51.4	▼▼

【下位層の割合】

区 分	正答数	全国の下位約 25%と同じ正答数の範囲に含まれる児童の割合 (%)		
		稚内市	全国	全国との比較
平成 28 年度	15 問中 8 問以下	26.0	21.3	4.7
平成 29 年度	15 問中 9 問以下	22.5	22.3	0.2
平成 30 年度	12 問中 6 問以下	27.9	22.0	5.9

【全国平均を超えた設問】

学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う

せい造、せつ備

【課題と改善点】

相手や場面に応じて適切に敬語を使う

●相手や場面に応じて適切に敬語を使うことに課題がある。

《学習指導にあたって》

敬語を適切に使うようにするためには、相手と自分との関係を意識しながら、様々な場の状況で敬語を使うことに慣れることが重要である。また、自分や身内に関わる行動などについては、尊敬語を用いることが適切ではないというような、公の場における言葉の使い方に対する感覚を養うことも大切である。

文の中における主語と述語との関係などに注意して、文を正しく書く

●主語と述語の関係を踏まえて適切に書き直すことができなかった。

《学習指導にあたって》

主語と述語が適切な係り受けの関係となっていることが、伝えたいことを相手に正確に伝える上で重要であることに気づくようにすることが大切である。

主語と述語との関係については、表現する時だけではなく、文章を読む時にも強く意識できるように指導することが大切である。

学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う

●同じ音と同じ部分を持っている漢字について、適切な選択ができなかった。

《学習指導にあたって》

日常生活の中で適切に漢字を使うことができるようにすることが重要である。そのためには、読み方や字形に注意してくり返し練習することに留まらず、同じ音や同じ部分を持つ漢字との違いや、文脈の中での使い方に着目できるように指導することも大切である。

② 小学校国語B(主として活用)

【学習指導要領の領域別集計結果】

区 分	正答率 (%)		
	稚内市	全国	全国との比較
話すこと・聞くこと	★★	64.6	▼▼
書くこと	★	45.6	▼▼
読むこと	★	50.8	▼▼
言語事項	—	—	—

【設問別集計結果】

設問 番号	設問の概要	出題の趣旨	正答率 (%)		
			稚内市	全国	全国との比較
1一	【話し合いの様子の一部】における木村さんの発言の意図として、適切なものを選択する	話し合いの参加者として、質問の意図を捉える	★★★★	82.5	▼
1二	【話し合いの様子の一部】における司会の発言の役割として、適切なものを選択する	計画的に話し合うために、司会の役割について捉える	★★★★	77.5	▼▼
1三	これから言葉をどのように使っていきたいかについて、北川さん、小池さんのいずれかの意見を取り上げて書く	話し手の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめる	★	33.8	▼▼
2一	「かみかみあえ」についての【おすすめする文章】の最初の部分に書いた理由として適切なものを選択する	目的や意図に応じて、文章全体の構成の効果を考える	★★	57.6	▼
2二	【おすすめする文章】の、むし歯を防ぐ効果について、【保健室の先生の話から分かったこと】を取り入れて詳しく書く	目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして、詳しく書く	★	13.5	▼
2三	【紹介する文章】を基にして【おすすめする文章】を書くときの工夫として適切なものを選択する	推薦するためには、他のものと比較して書くことで、よさが伝わることを捉える	★★★★	70.8	▼
3一	山下さんは、どのようなことが知りたくて【自伝「旅人」の一部】を読んだのか、その説明として適切なものを選択する	目的に応じて、複数の本や文章などを選んで読む	★	49.4	▼▼
3二	【伝記「湯川秀樹」の一部】を読んで、【ノートの一部】C 最も心がひかれた一文とその理由の文章に入る内容を書く	目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながらか読む	★	52.3	▼▼

【下位層の割合】

区 分	正答数	全国の下位約 25%と同じ正答数の範囲に含まれる児童の割合 (%)		
		稚内市	全国	全国との比較
平成 28 年度	10 問中 4 問以下	41.7	29.8	11.9
平成 29 年度	9 問中 3 問以下	27.2	23.2	4.0
平成 30 年度	8 問中 2 問以下	24.8	18.6	6.2

【全国平均とほぼ同じ設問】

目的や意図に応じて、文章全体の構成の効果を考える

【課題と改善点】

話し相手の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめる

●相手の意見を踏まえて自分の考えをまとめることに課題がある。

《学習指導にあたって》

学級において自分たちの言葉の使い方を見直すためには、立場を決めて話し合う場面を多く経験することに加えて、話し合い活動を繰り返す学習も重要である。

討論を円滑に進めるためには、司会はその果たす役割を理解し、違う立場から出されたそれぞれの意見を整理することが重要である。

目的に応じて文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながらかく

●目的に応じて文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にすることに課題がある。

《学習指導にあたって》

目的に応じて文章の内容を的確に押さえるためには、何を知りたいのか、どのような情報が必要なのか、ということを確認にした上で、全体の構成を把握しながら読むことが大切である。

また、自分の考えを明確にするためには、必要な叙述を選び、他の部分の考えをまとめていくことが大切である。

なぜその一文に最も心が惹かれたのか、人物の具体的な行動や言葉など、根拠になる叙述を取り上げて、その理由を説明できるようにすることが大切である。また、気になるところを読み返し、他の部分に書かれている叙述とも関係づけ、取り上げた人物の生き方についての理解を探ると共に、自分の考えも深めながらまとめることができるようにする。

③ 小学校算数A(主として知識)

【学習指導要領の領域別集計結果】

区 分	正答率 (%)		
	稚内市	全国	全国との比較
数と計算	★★	62.3	▼▼
量と測定	★★★	72.7	▼
図形	★	56.9	▼▼
数量関係	★★	60.1	▼▼

【設問別集計結果】

設問 番号	設問の概要	出題の趣旨	正答率 (%)		
			稚内市	全国	全国との比較
1 (1)	針金0.2mの重さと針金0.1mの重さを書く	除法で表すことができる二つの数量の関係を理解している	★★	62.9	▼▼
1 (2)	針金0.4mと、0.4mの重さの60gと、1mの重さが、それぞれ数直線上のどこに当てはまるかを選ぶ	1に当たる大きさを求める問題場面における数量の関係を理解し、数直線上に表すことができる	★★★	66.7	▼
1 (3)	針金1mの重さを求める式を選ぶ	1に当たる大きさを求める問題では、除数が小数である場合でも除法を用いることを理解している	★★	65.3	▼▼
2	答えが $12 \div 0.8$ の式で求められる問題を選ぶ	小数の除法の意味について理解している	★	39.9	▼▼
3	3桁の整数どうしの大きさを比べ、十の位に入る適切な数字を書く	十進位取り記数法で表された数の大小について理解している	★★★	76.4	▼▼
4 (1)	面積がそろっている㊦と㊧の二つのシートの混み具合について、正しいものを選ぶ	異種の二つの量のうち、一方の量がそろっているときの混み具合の比べ方を理解している	★★★★	87.8	△
4 (2)	㊦と㊧の二つのシートの混み具合を比べる式の意味について、正しいものを選ぶ	単体量当たりの大きさを求める除法の式と商の意味を理解している	★★	50.1	△
5 (1)	角いの角の大きさが、何度であるかを選ぶ	180° の角の大きさを理解している	★★★★	94.4	▼
5 (2)	分度器の目盛りを読み、 180° よりも大きい角の大きさを求める	180° や 360° を基に分度器を用いて、 180° よりも大きい角の大きさを求めることができる	★	58.5	▼▼
6	空間の中にあるものの位置を正しく書く	示された表現方法を基に、空間の中にあるものの位置を表現することができる	★★★	73.5	▼▼

設問 番号	設問の概要	出題の趣旨	正答率 (%)		
			稚内市	全国	全国との比較
7 (1)	円周率を求める式として正しいものを選ぶ	円周率の意味について理解している	★	41.6	▼▼
7 (2)	円の直径の長さが2倍になったとき、円周の長さが何倍になるかを選ぶ	直径の長さや円周の長さの関係について理解している	★	55.6	▼▼
8	200人のうち80人が小学生のとき、小学生の人数は全体の人数の何%かを選ぶ	百分率を求めることができる	★	52.9	▼
9	示された事柄が両方当てはまるグラフを選ぶ	折れ線グラフから変化の特徴を読み取ることができる	★★	63.6	▼

【下位層の割合】

区 分	正答数	全国の下位約25%と同じ正答数の範囲に含まれる児童の割合 (%)		
		稚内市	全国	全国との比較
平成28年度	16問中10問以下	35.6	24.2	11.4
平成29年度	15問中10問以下	32.7	27.3	5.4
平成30年度	14問中6問以下	32.2	24.3	7.9

【全国平均を超えた設問】

異種の二つの量のうち、一方の量がそろっているときの混み具合の比べ方を理解している

単位量当たりの大きさを求める除法の式と商の意味を理解している

【課題と改善点】

小数の除法の意味について理解している

●小数の情報の意味について理解し、問題の場面から式を考えることに課題がある。

《学習指導にあたって》

図や直線などを用いて、数量の関係を的確に捉え、立式することができるようにすることが大切である。

180° や 360° を基に分度器を用いて、180° よりも大きい角の大きさを求めることができる

●角の大きさについて単位と測定の意味を理解し、角の大きさを測定することに課題がある。

《学習指導にあたって》

180° よりも大きい角の大きさの測定においては、分度器を用いて、180° を超えた部分の角の大きさや 360° に足りない部分の角の大きさについて測定できるようにすることが大切である。

1に当たる大きさを求める問題では、除数が小数である場合でも除法を用いることを理解している

●商が1より小さくなる等分除（整数）÷（整数）の場面で除法が用いられることの理解に課題がある。

《学習指導にあたって》

図や数直線から数量の関係を的確に捉え、除数が1より小さい小数である場合でも除法が用いられることを理解できるようにすることは、正しく立式する上で大切である。

④ 小学校算数B(主として活用)

【学習指導要領の領域別集計結果】

区 分	正答率 (%)		
	稚内市	全国	全国との比較
数と計算	★	58.4	▼▼
量と測定	★	52.4	▼▼
図形	★★	59.9	▼▼
数量関係	★	45.1	▼▼

【設問別集計結果】

設問 番号	設問の概要	出題の趣旨	正答率 (%)		
			稚内市	全国	全国との比較
1 (1)	合同な正三角形で敷き詰められた模様の中から見いだすことができる図形として、正しいものを選ぶ	合同な正三角形で敷き詰められた模様の中に、条件に合う図形を見いだすことができる	★★★	71.7	▼
1 (2)	一つの点の周りに集まった角の大きさの和が 360° になっていることを、着目した図形とその角の大きさを基に書く	図形の構成要素や性質を基に、集まった角の大きさの和が 360° になっていることを記述できる	★	48.2	▼▼
2 (1)	全体で使える時間の中で、「ルールの説明」に使える時間は何分かを書く	示された情報を解釈し、条件に合う時間を求めることができる	★★★	70.5	▼▼
2 (2)	1回の玉入れゲームの時間を3分に最も近い時間にするための玉を投げる時間を、表に整理して求める	示された考え方を解釈し、ほかの数値の場合を表に整理し、条件に合う時間を判断することができる	★	47.9	▼▼
3 (1)	メモ1とメモ2は、それぞれ、グラフについてどのようなことに着目して書かれているのかを書く	メモの情報とグラフを関連付け、総数や変化に着目していることを解釈し、それを記述できる	★	20.7	▼▼
3 (2)	一つの事柄について表した棒グラフと帯グラフから読み取ることができることをまとめた文章に当てはまるものを選ぶ	棒グラフと帯グラフから読み取ることができることを、適切に判断することができる	★	23.9	▼
4 (1)	「32, 40」の二つの数の和が9の段の数になるわけを、分配法則を用いた式に表す	示された考えを解釈し、条件を変更して数量の関係を考察し、分配法則の式に表現することができる	★	62.7	▼▼
4 (2)	横に並んでいる七つの数について、示された表現方法を適用して書く	示された考えを解釈し、条件を変更して考察した数量の関係を、表現方法を適用して記述できる	★	59.5	▼▼

設問 番号	設問の概要	出題の趣旨	正答率 (%)		
			稚内市	全国	全国との比較
5 (1)	横の長さが7mの黒板に輪かざりをつけるために必要な折り紙の枚数が、100枚あれば足りるわけを書く	折り紙の枚数が100枚あれば足りる理由を、示された数量に関連付け根拠を明確にして記述できる	★	43.2	▼▼
5 (2)	4色を順に繰り返してつなげ、輪かざり1本を作ったときの、30個目の折り紙の輪の色を選ぶ	折り紙の輪の色の規則性を解釈し、それを基に条件に合う色を判断することができる	★★	66.5	▼▼

【下位層の割合】

区 分	正答数	全国の下位約25%と同じ正答数の範囲に含まれる児童の割合 (%)		
		稚内市	全国	全国との比較
平成28年度	13問中3問以下	30.8	20.0	10.8
平成29年度	11問中3問以下	35.6	30.5	5.1
平成30年度	10問中2問以下	32.3	19.6	12.7

【全国平均とほぼ同じ設問】

棒グラフと帯グラフから読み取ることができることを適切に判断することができる

合同な正三角形で敷き詰められた模様の中に、条件に合う図形を見いだすことができる

【課題と改善点】

示された考えを解釈し、条件を変更して数量の関係を考察し、分配法則の式に表現することができる

●算数の問題場面から見いだした数量関係を基に、論理的、発展的に考察し、数学的に表現することに課題がある。

《学習指導にあたって》

算数の問題場面における数量の関係を帰納的に考察し、見いだした数量関係を式を用いて表現することができるようにすることが大切である。 $4 \times 8 + 5 \times 8$ を分配法則を用いて $(4 + 5) \times 8$ とし、 9×8 と表すなど、4の段と5の段の縦に並んでいる2つの数の和が9の段の数になることを、式を用いて簡潔に表現することができるようにすることも大切である。

示された考えを解釈し、条件を変更して考察した数量の関係を、表現方法を適用して記述できる

●算数の問題場面から見いだした数量関係を基に、論理的、発展的に考察し、数学的に表現することに課題がある。

《学習指導にあたって》

算数の学習では児童自らが数量の関係を見いだして考察し、さらに、その数量の関係が他の場合でも成り立つことを確かめて、確かめた数量の関係を的確に表現できるようにすることが大切である。また、九九の表に興味を持ち、九九の表の横に並んでいる数から縦に並んでいる数や斜めに並んでいる数に条件を変えて着目をしたり、九九の表にある数の総和も、真ん中の数の何倍かと表す事ができるかどうかを考察したりすることで、児童自らが発展的に考えようとする態度を育てることも大切である。

折り紙の枚数が 100 枚あれば足りる理由を、示された数量を関連付け根拠を明確にして記述できる

●日常生活の問題の解決のために、複数の情報を関連づけて理論的に考察して、判断の理由を説明することに課題がある。

《学習指導にあたって》

複数の情報から枚数、本数、個数などの数量を解釈し関連づけて論理的に考察する活動が考えられる。その際、数量関係を的確に捉えることができるようにすることが大切である。その上で、捉えた数量の関係を基に、児童自ら見いだすことができるようにする。

図形の構成要素や性質を基に、集まった角の大きさの和が 360° になっていることを記述できる

●図形についての観察や構成などの活動を通して、平面図形についての理解を深めることに課題がある。

《学習指導にあたって》

図形の構成要素や性質を基に、筋道を立てて考え、事柄が成立することを説明できるようにすることが大切である。

示された考え方を解釈し、ほかの数値の場合を表に整理し、条件に合う時間を判断することができる

●示された情報を基に、条件に合う時間を求めることに課題がある。

《学習指導にあたって》

日常生活の問題の解決のために、情報を収集し、それを表に整理して、条件に合う事柄について適切に判断できるようにする。

日常生活において、規則正しい生活を過ごしたり、行動の計画を立てたりするためには、時刻を読むことや、条件に合わせて時刻や時間を求めることが大切である。

⑤ 小学校理科

【学習指導要領の領域別集計結果】

区 分	正答率 (%)		
	稚内市	全国	全国との比較
物質	★★	59.8	▼▼
エネルギー	★	53.1	▼▼
生命	★★★	73.6	▼
地球	★	49.5	▼▼

【設問別集計結果】

設問 番号	設問の概要	出題の趣旨	正答率 (%)		
			稚内市	全国	全国との比較
1 (1)	野鳥のひなの様子を観察するための適切な方法を選ぶ	安全に留意し、生物を愛護する態度をもって、野鳥のひなを観察できる方法を構想できる	★★★★	82.1	△
1 (2)	鳥の翼と人の腕のつくりについてのまとめから、どのような視点を基にまとめた内容なのかを選ぶ	調べた結果について考察する際に、問題に対応した視点で分析できる	★★★	76.2	▼▼
1 (3)	腕を曲げることのできる骨と骨のつなぎ目を表す言葉を書く	骨と骨のつなぎ目について、科学的な言葉や概念を理解している	★★★	79.4	▼
1 (4)	人の腕が曲がる仕組みについて、示された模型を使って説明できる内容を選ぶ	人の腕が曲がる仕組みを模型に適用できる	★	56.6	▼▼
2 (1)	流されてきた土や石を積もらせる水の働きを表す言葉を選ぶ	堆積作用について、科学的な言葉や概念を理解している	★★★★	83.6	▼
2 (2)	流れる水の働きによる土地の侵食について、自分の考えと異なる他者の予想を基に、斜面に水を流したときの立てた棒の様子を選ぶ	土地の侵食について、予想が確かめられた場合に得られる結果を見通して実験を構想できる	★	55.4	▼▼
2 (3)	一度に流す水の量と棒の様子との関係から、大雨が降って流れる水の量が増えたときの地面の削られ方を選び、選んだわけを書く	より妥当な考えをつくりだすために、実験結果を基に分析して考察し、その内容を記述できる	★	20.1	▼▼
2 (4)	上流側の雲の様子や雨の降っている所と下流側の川の水位の変化から、上流側の天気と下流側の水位の関係について言えることを選ぶ	より妥当な考えをつくりだすために、複数の情報を関係付けながら、分析して考察できる	★	59.8	▼▼
3 (1)	風が吹く方向を変えるためにモーターの回転が逆になる回路を選ぶ	乾電池のつなぎ方を変えると電流の向きが変わることを実際の回路に適用できる	★★	63.5	▼▼

設問 番号	設問の概要	出題の趣旨	正答率 (%)		
			稚内市	全国	全国との比較
3 (2)	回路を流れる電流の流れ方について、自分の考えと異なる他者の予想を基に、検流計の針の向きと目盛りを選ぶ	電流の流れ方について、予想が確かめられた場合に得られる結果を見通して実験を構想できる	★	47.7	▼▼
3 (3)	回路を流れる電流の向きと大きさについて、実験結果から考え直した内容を選ぶ	実験結果から電流の流れ方について、より妥当な考えに改善できる	★	59.4	▼▼
3 (4)	目的の時間帯だけモーターを回すため、太陽の1日の位置の変化に合わせた箱の中での光電池の適切な位置や向きを選ぶ	太陽の1日の位置の変化と光電池に生じる電流の変化の関係を目的に合ったものづくりに適用できる	★	41.9	▼▼
4 (1)	ろ過後の溶液に砂が混じっている状況に着目しながら、誤った操作に気づき、適切に操作する方法を選ぶ	ろ過の適切な操作方法を身に付けている	★★★★	71.1	▼
4 (2)	海水と水道水を区別するために、2つの異なる実験方法から得られた結果を基に判断した内容を選ぶ	より妥当な考えをつくりだすために、2つの異なる方法の実験結果を分析して考察できる	★★★★★	89.4	▼
4 (3)	食塩を水に溶かしたときの全体の重さを選ぶ	物を水に溶かしても全体の重さは変わらないことを食塩を溶かして体積が増えた食塩水に適用できる	★	42.7	▼▼
4 (4)	食塩水を熱したときの食塩の蒸発について、実験を通して導きだす結論を書く	実験結果から言えることだけに言及した内容に改善し、その内容を記述できる	★	35.9	▼▼

【下位層の割合】

区 分	正答数	全国の下位約 25%と同じ正答数の範囲に含まれる児童の割合 (%)		
		稚内市	全国	全国との比較
平成 24 年度	24 問中 11 問以下	38.5	25.5	13.0
平成 27 年度	24 問中 11 問以下	34.0	27.4	6.6
平成 30 年度	16 問中 6 問以下	30.2	18.0	12.2

【全国平均を超えた設問】

安全に留意し、生物を愛護する態度をもって、野鳥のひなを観察できる方法を構想できる

【課題と改善点】

より妥当な考え方を作り出すために、複数の情報を関係付けながら分析して考察できる

●より妥当な考えを作り出すために、実際に観察した内容や調べた結果など複数の情報を関連付けながら、多面的に分析して考察することに課題がある。

《学習指導にあたって》

身近に起こりうる自然災害への適切な対応につながる指導が重要である。

上流側での降雨と下流側の水位の変化に時間的差が生じる原因として、上流と下流に距離があるといった空間的な見方を働かせることを意識して、授業改善をすることが大切である。

乾電池のつなぎ方を変えると電流の向きが変わることを実際の回路に適用できる

●提示された自然の事物・現象と理科で学んだ電流の働きに関する知識・技能を結びつけて解釈し、実際の回路に当てはめて適用することに課題がある。

《学習指導にあたって》

物作りの活動においては、目的を設定し、計測して制御するといった考え方に基づいた学習活動となるよう充実を図る。

乾電池のつなぎ方を変えたときのモーターの動作の様子の変化を捉える関係的な見方や、乾電池の数を1個から2個に増やしたときの電流の大きさとモーターの動作の様子の変化を捉える量的・関係的な見方を働かせることの重要性について、意識して授業改善をする。

実験結果から電流の流れ方について、より妥当な考えに改善できる

●実験結果から自らの予想が確かめられたかどうかを判断し、確かめられなかった場合には、自らの予想としていた考えより妥当な考えに改善することに課題がある。

《学習指導にあたって》

観察実験後に児童が既に持っている自らの予想や仮説を検討し、見直したりふり返ったりすることにより、多面的に考察し、より妥当な考えを作り出すことの重要性について意識して授業を改善する。

物を水に溶かしても全体の重さは変わらないことを食塩を溶かして体積が増えた食塩水に適用できる

●ものを水に溶かしても全体の重さは変わらないことを、食塩を溶かして体積が増えた食塩水に適用することの理解が不足している。

《学習指導にあたって》

学んだことを自然の事物・現象に適用できるようにするためには、既習の内容や生活経験と関連づけて話し合う場を設定し、提示された自然の事物・現象を捉えることが大切である。

⑥ 中学校国語A(主として知識)

【学習指導要領の領域別集計結果】

区 分	正答率 (%)		
	稚内市	全国	全国との比較
話すこと・聞くこと	★★★	75.2	▼
書くこと	★★★	73.9	▼
読むこと	★★★	76.7	▼▼
伝統的な言語文化と国語の特質	★★★	76.5	▼

【設問別集計結果】

設問 番号	設問の概要	出題の趣旨	正答率 (%)		
			稚内市	全国	全国との比較
1一	スピーチの感想に対して先生が述べた言葉として適切なものを選択する	話の論理的な構成や展開などに注意して聞く	★★★★★	87.4	▼▼
2一	図書だよりの下書きの構成を説明したものとして適切なものを選択する	書こうとする事柄のまとまりや順序を考えて文章を構成する	★★★★★	89.5	▼
2二	二つの意見の内容を一文で書き加える	伝えたい事実や事柄が相手に分かりやすく伝わるように書く	★★★	64.0	▼
3一	「それは掛け値のない一、二秒の間のできごとである」を説明したものとして適切なものを選択する	文脈の中における語句の意味を理解する	★★★★★	88.2	▼
3二	父と保吉の言動についての説明として適切なものを選択する	場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、内容を理解する	★★★	82.8	▼▼
4一	意見文の下書きに一文を書き加える意図として適切なものを選択する	書いた文章を読み返し、伝えたい内容が十分に表されているかを検討する	★★★	62.8	▼
4二	段落の内容を入れ替えて書き直す理由として適切なものを選択する	段落相互の関係に注意し、読みやすく分かりやすい文章にする	★★★	79.4	▼▼
5一	本文の第六段落の説明として適切なものを選択する	段落が文章全体の中で果たす役割を捉え、内容の理解に役立てる	★★★	76.3	▼▼
5二	新聞紙の製造工程の一部を言い表したものとして適切なものを選択する	文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉える	★★	59.5	▼▼
6一	話合いの際のメモのとり方の説明として適切なものを選択する	話合いの話題や方向を捉える	★★★	72.4	▼
6二	話合いの中で確認しなければならないことについての司会としての発言を書く	話合いの話題や方向を捉えて的確に話す	★★★	65.8	▼

設問 番号	設問の概要	出題の趣旨	正答率 (%)		
			稚内市	全国	全国との比較
7一	場面に当てはまる語句の意味として適切なものを選択する (ハナイカダ)	語句の辞書的な意味を踏まえて文脈上の意味を捉える	★★★★	87.3	▼
7二	「それでは」の働きとして適切なものを選択する	接続詞の働きについて理解する	★★★★	88.4	▼
8一1	漢字を書く (紙をひもで <u>タバ</u> ねる)	文脈に即して漢字を正しく書く	★★★★	79.0	△
8一2	漢字を書く (舞台の <u>マク</u> が上がる)		★★★★	72.9	△
8一3	漢字を書く (先制点を <u>ユル</u> す)		★★★★	71.4	△
8二1	漢字を読む (<u>模型</u> を作る)	文脈に即して漢字を正しく読む	★★★★	95.7	△
8二2	漢字を読む (池の水が <u>凍</u> る)		★★★★	97.8	▼
8二3	漢字を読む (技を <u>磨</u> く)		★★★★	98.1	△
8三ア	適切な語句を選択する (立場の異なる両者の主張は終始 <u>一貫</u> して変わらず、最後まで結論が出なかった)	語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う	★★★	77.7	▼▼
8三イ	適切な語句を選択する (魚の中には群れを作って泳ぐ <u>習性</u> をもつものがいる)		★★★★	91.0	△
8三ウ	適切な敬語を選択する (先生が私たちに大切なことを <u>おっしゃった</u>)		★★★★	88.0	▼
8三エ	適切な語句を選択する (彼は <u>せき</u> を切ったように話し始めた)		★	29.2	▼
8三オ	適切な語句を選択する (意見の折り合いを <u>つける</u>)		★★	61.8	▼▼
8三カ	適切な語句を選択する (わたしが健康になったのは、 <u>ひとえ</u> に母のおかげです)		★★★★	65.4	▼
8三キ	適切な語句を選択する (姉はみんなと一緒に運動をすることが好きだ。 <u>一方</u> 、妹は一人で本を読むことが好きだ)		★★★★	95.2	△
8四1	「心を打たれる」の意味として適切なものを選択する		慣用句の意味を理解する	★★★★	94.7
8四2	「心を打たれた。」を文末に用いた一文を、主語を明らかにし、「誰(何)」の「どのようなこと」に「心を打たれた」のかが分かるように書く	目的に応じて文の成分の順序や照応、構成を考えて適切な文を書く	★	22.3	▼

設問 番号	設問の概要	出題の趣旨	正答率 (%)		
			稚内市	全国	全国との比較
8五	作品への助言として適切なものを選択する	行書の基礎的な書き方を理解して書く	★★	54.4	▼
8六1	『韓非子』の中の語句の訳を抜き出す(いはく)	古典の文章と現代語訳とを対応させて内容を捉える	★★★★	91.1	△
8六2	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す(とほさざるなし)	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読む	★★	63.0	▼▼
8六3	『韓非子』の中で矛盾していることの説明として適切なものを選択する	古典に表れたものの見方や考え方を理解する	★★★	81.3	▼

【下位層の割合】

区分	正答数	全国の下位約25%と同じ正答数の範囲に含まれる児童の割合 (%)		
		稚内市	全国	全国との比較
平成28年度	33問中22問以下	33.7	26.5	7.2
平成29年度	32問中21問以下	41.7	23.2	18.5
平成30年度	32問中21問以下	31.8	23.2	8.6

【全国平均を超えた設問】

文脈に即して漢字を正しく書く

紙をひもでたばねる、先制点をゆるす

文脈に即して漢字を正しく読む

模型を作る、技を磨く

語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う

「魚の中には群れを作って泳ぐ習性をもつものがある」

「姉はみんなと一緒に運動することが好きだ。一方、妹は一人で本を読むことが好きだ」

古典の文章と現代語訳とを対応させて内容を捉える

【課題と改善点】

段落が文章全体の中で果たす役割を捉え、内容の理解に役立てる

●文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉えることに課題がある。

《学習指導にあたって》

説明的な文章を読む際には、段落ごとの内容を捉えたり、段落相互の関係を正しく押さえたりしながら、文章全体におけるそれぞれの段落の役割を捉えるようにする。

目的に応じて説明的な文章を読み、文章中に示されている具体的な例が、書き手の論の展開の中で果たしている役割について考えたり、各段落で述べられている事柄の順序が書き手の考えにどのような説得力をもたらしているか等を考えたりしながら、文章の内容を理解するなどの学習活動が有効である。

段落相互の関係に注意し、読みやすく分かりやすい文章にする

●書いた文章を読み返し、語句や文の使い方、段落相互の関係などに注意して、読みやすくわかりやすい文章にすることに課題がある。

《学習指導にあたって》

わかりやすい文章を書くために、文章全体における段落の役割を考え、段落相互の関係が適切かどうかを吟味して文章を構成するように指導する。

書いた文章を互いに読み合い、文章の構成について検討したり、必要に応じて文章を再構成したりするなどの学習活動が考えられる。

文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉える

●文章の中心的部分と付加的な部分、事実と意見などと読み分け、目的や必要に応じて要約したり要旨を捉えたりすることに課題がある。

《学習指導にあたって》

説明的な文章を読む際には、文章の構成や展開に即して情報を整理し、内容を捉えるように指導することが大切である。

⑦ 中学校国語B(主として活用)

【学習指導要領の領域別集計結果】

区 分	正答率 (%)		
	稚内市	全国	全国との比較
話すこと・聞くこと	★★★	76.6	▼
書くこと	★	31.3	▼
読むこと	★	53.5	▼
伝統的な言語文化と国語の特質	★	49.2	▼▼

【設問別集計結果】

設問 番号	設問の概要	出題の趣旨	正答率 (%)		
			稚内市	全国	全国との比較
1一	グラフから分かることについて文章中で説明しているものとして適切なものを選択する	文章とグラフとの関係を考えながら内容を捉える	★	45.9	▼
1二	複数の辞書を引用して「天地無用」の意味を示す効果として適切なものを選択する	文章の構成や展開について自分の考えをもつ	★★	64.3	▼▼
1三	「天地無用」という言葉を誤った意味で解釈してしまう人がいる理由を書く	目的に応じて文章を読み、内容を整理して書く	★	13.3	▼
2一	二人の質問の意図として適切なものを選択する	質問の意図を捉える	★★★★	86.8	▼▼
2二	二人に続いてする質問を書く	話の展開に注意して聞き、必要に応じて質問する	★★★★★	88.3	▼
2三	ロボットに期待することを述べて発表をまとめる際の話の進め方として適切なものを選択する	全体と部分との関係に注意して相手の反応を踏まえながら話す	★★	54.6	△
3一	登場人物についての説明として適切なものを選択する	場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、内容を理解する	★★★★	80.2	▼
3二	文章中の表現について語った人物として適切なものを選択する	登場人物の言動の意味などを考え、内容の理解に役立てる	★★★★	68.2	△
3三	話のあらすじを学級の友達にどのように説明するかを書く	相手に的確に伝わるように、あらすじを捉えて書く	★	49.2	▼▼

【下位層の割合】

区 分	正答数	全国の下位約 25%と同じ正答数の範囲に含まれる児童の割合 (%)		
		稚内市	全国	全国との比較
平成 28 年度	9 問中 4 問以下	32.1	25.4	6.7
平成 29 年度	9 問中 5 問以下	31.0	27.8	3.2
平成 30 年度	9 問中 3 問以下	27.2	17.5	9.7

【全国平均を超えた設問】

全体と部分との関係に注意して相手の反応を踏まえながら話す

登場人物の言動の意味などを考え、内容の理解に役立てる

【課題と改善点】

文章の構成や展開について自分の考えを持つ

●文章の構成や展開について自分の考えを持つことに課題がある。

《学習指導にあたって》

文章の構成や展開、表現の効果について考える

説明的な文章において、書き手は読み手の理解を促すために、文章の構成や展開を工夫したり、一つ一つの表現を工夫したりして書いている。自分の考えを支える根拠となる段落や部分などをあげるように指導することが重要である。

質問の意図を捉える

●必要に応じて質問しながら聞き取り、自分の考えとの共通点や相違点を整理することに課題がある。

《学習指導にあたって》

説明や発表などを聞く際には、話の内容と自分の考えとを比較し、必要に応じて不明な部分や、さらに聞きたい事項について質問するように指導する。話し手に対して、話の途中で聞き手に問いかけたり質問を促したりするなど、聞き手の反応やその場の状況に応じて適切な働きかけをするように指導をすることが大切である。

相手に的確に伝わるように、あらすじを捉えて書く

●伝えたい事実や事柄について、自分の考えや気持ちを根拠を明確にして書くことに課題がある。

《学習指導にあたって》

作品のあらすじをまとめる際には、それぞれの場面の内容や場面相互の関係を捉え、話の展開を踏まえるように指導することが大切である。その際、時間や場所、問題状況などの設定、状景や場面の様子の変化、主人公などの登場人物、登場人物の性格や行動、会話及び心情の変化、事件の展開と解決などの基本的な構成要素を捉えて整理するように指導することが重要である。

⑧ 中学校数学 A(主として知識)

【学習指導要領の領域別集計結果】

区 分	正答率 (%)		
	稚内市	全国	全国との比較
数と式	★★★	71.1	▼▼
図形	★★★	69.1	▼▼
関数	★	55.5	▼▼
資料の活用	★★	63.5	▼▼

【設問別集計結果】

設問 番号	設問の概要	出題の趣旨	正答率 (%)		
			稚内市	全国	全国との比較
1 (1)	数直線上の点が表す負の整数の値を読み取る	数直線上に示された負の整数を読み取ることができる	★★★★★	94.6	▼
1 (2)	絶対値が6である数を書く	絶対値の意味を理解している	★★	69.0	▼▼
1 (3)	$2 \times (-5^2)$ を計算する	指数を含む正の数と負の数の計算ができる	★★	68.9	▼▼
1 (4)	ある日の最低気温がその前日の最低気温からどれだけ高くなったかを求める式を選ぶ	ある基準に対して反対の方向や性質をもつ数量が正の数と負の数で表されることを理解している	★	54.2	▼▼
2 (1)	「1個 a kg の荷物3個と1個 b kg の荷物4個の全体の重さは15 kg 以上である」という数量の関係を表した不等式を書く	数量の大小関係を不等式に表すことができる	★	41.5	▼▼
2 (2)	$6a^2b \div 3a$ を計算する	単項式どうしの除法の計算ができる	★★★★★	91.0	△
2 (3)	$a=3, b=-4$ のときの式 $a-2b$ の値を求める	文字式に数を代入して式の値を求めることができる	★★★★	78.5	▼▼
2 (4)	等式 $S = (1/2)ah$ を、 a について解く	具体的な場面で関係を表す式を、等式の性質を用いて、目的に応じて変形することができる	★	48.2	▼▼
3 (1)	一元一次方程式 $6x-3=9$ を解く際に用いられている等式の性質を選ぶ	方程式を解く場面における等式の性質の使い方について理解している	★	64.0	▼▼
3 (2)	比例式 $x:20=3:4$ を解く	簡単な比例式を解くことができる	★★★★★	87.8	▼
3 (3)	連立二元一次方程式を解く $\begin{cases} 5x-2y=10 \\ 3x-2y=2 \end{cases}$	簡単な連立二元一次方程式を解くことができる	★★★★	80.0	▼▼

設問 番号	設問の概要	出題の趣旨	正答率 (%)		
			稚内市	全国	全国との比較
3 (4)	連立二元一次方程式をつくるために着目する数量を選び、式で表す	着目する必要がある数量を見だし、その数量に着目し、連立二元一次方程式をつくることができる	★★★	75.2	▼▼
4 (1)	ひし形が線対称な図形か点对称な図形か選ぶ	ひし形は、線対称な図形であり、点对称な図形でもあることを理解している	★★★	67.1	▼
4 (2)	$\triangle ABC$ を辺ABが辺ACに重なるように折った線を作図するための線を選ぶ	折り目の線の作図と角の二等分線の関係を理解している	★	54.9	▼▼
4 (3)	長方形ABCDを、点Aを中心として時計回りに 90° だけ回転移動した図形をか	回転移動した図形をか	★★★	66.1	\triangle
5 (1)	直方体において、与えられた面に平行な辺を書く	空間における平面と直線との位置関係（面と辺が平行であることを）を理解している	★★★	74.3	▼▼
5 (2)	半円の直径を軸として回転させてできる立体の名称を書く	半円を、その直径を軸として回転させると、球が構成されることを理解している	★★★	82.4	▼▼
5 (3)	与えられた円柱の見取図から、その円柱の投影図を選ぶ	見取図、投影図から空間図形を読み取ることができる	★★★	83.7	▼▼
5 (4)	底面の四角形が合同で高さが等しい四角柱と四角錐の体積の関係について、正しいものを選ぶ	四角錐の体積は、それと底面が合同で高さが等しい四角柱の体積の $1/3$ であることを理解している	★	57.6	▼▼
6 (1)	三角形の外角を表す式を選ぶ	三角形の外角とそれと隣り合わない2つの内角の和の関係を理解している	★★★	71.4	▼▼
6 (2)	五角形の1つの頂点を動かし、角の大きさを 90° に変えたときの内角の和の変化として正しいものを選ぶ	多角形の内角の和の性質を理解している	★★★	75.7	▼▼
7 (1)	$\triangle ABC$ と $\triangle DEF$ が合同であるための条件として、正しいものを選ぶ	2つの三角形が合同であるために必要な辺や角の相等関係について理解している	★★★	72.0	▼▼
7 (2)	長方形で成り立ち、ひし形でも成り立つことを選ぶ	長方形やひし形が平行四辺形の特別な形であることを理解している	★★★	78.2	▼▼

設問 番号	設問の概要	出題の趣旨	正答率 (%)		
			稚内市	全国	全国との比較
8	対頂角は等しいことの証明について正しい記述を選ぶ	証明の必要性と意味を理解している	★	45.5	▼
9 (1)	比例 $y=5x$ について、正しい記述を選ぶ	比例 $y=ax$ における比例定数 a の意味を理解している	★★	65.5	▼▼
9 (2)	比例のグラフから、 x の変域に対応する y の変域を求める	与えられた比例のグラフから、 x の変域に対応する y の変域を求めることができる	★	55.0	▼▼
9 (3)	反比例のグラフから表を選ぶ	反比例について、グラフと表を関連付けて理解している	★	52.8	▼
10	点 $(-2, 3)$ の位置を座標平面上に示す	座標平面上に点の位置を示すことができる	★★★	69.9	▼▼
11 (1)	一次関数 $y=2x+7$ について、 x の値が1から4まで増加したときの y の増加量を求める	一次関数 $y=ax+b$ について、 x の値の増加に伴う y の増加量を求めることができる	★	45.3	▼▼
11 (2)	一次関数 $y=-2x+6$ が表すグラフを選ぶ	一次関数 $y=ax+b$ について、 a と b の値とグラフの特徴を関連付けて理解している	★	56.3	▼▼
12	歩いた道のりと、残りの道のりの関係について、正しい記述を選ぶ	一次関数の意味を理解している	★	36.4	△
13	グラフから、連立二元一次方程式の解を座標とする点について、正しい記述を選ぶ	連立二元一次方程式の解を座標とする点は、座標平面上の2直線の交点であることを理解している	★★	62.7	▼▼
14 (1)	生徒35人の靴をサイズごとに調べ、最頻値が25.5cmだったことについて、必ずいえる記述を選ぶ	最頻値は、資料の中で最も多く出てくる値であることを理解している	★★★	68.4	▼▼
14 (2)	反復横とびの記録の中央値を求める	与えられた資料から中央値を求めることができる	★★★	74.0	▼
15 (1)	1枚の硬貨を多数回投げたときの表が出る相対度数の変化の様子について、正しい記述を選ぶ	多数回の試行の結果から得られる確率の意味を理解している	★	40.2	▼▼
15 (2)	大小2つのさいころを同時に投げるとき、和が8になる確率を求める	表などを利用して、確率を求めることができる	★★★	71.3	▼

【下位層の割合】

区 分	正答数	全国の下位約 25%と同じ正答数の範囲に含まれる児童の割合 (%)		
		稚内市	全国	全国との比較
平成 28 年度	36 問中 16 問以下	33.1	25.1	8.0
平成 29 年度	36 問中 17 問以下	33.9	25.2	8.7
平成 30 年度	36 問中 17 問以下	34.6	23.3	11.3

【全国平均を超えた設問】

回転移動した図形を書くことができる

単項式どうしの除法の計算ができる

一次関数の意味を理解している

【課題と改善点】

方程式を解く場面における等式の性質の使い方について理解している

●等式の性質を基にして、方程式を解くことに課題がある。

《学習指導にあたって》

方程式を解く際に用いられている等式の性質を理解できるように指導する。移項は、等式の性質による解き方を形式的に簡略化したものであることを理解できるようにする。

長方形やひし形が平行四辺形の特別な形であることを理解している

●図形の合同について理解し図形についての見方を深めると共に、図形の性質を三角形の合同条件などを基にして確かめ、論理的に考察し表現することに課題がある。

《学習指導にあたって》

正方形、ひし形、長方形、平行四辺形の定義に基づき、「平行四辺形になるための条件」などを手がかりにして各図形間の関係を論理的に考察し、整理できるように指導する。

具体的な場面で関係を表す式を、等式の性質を用いて、目的に応じて変形することができる

●具体的な事象の中に数量関係を見だし、それを文字を用いて式に表現したり式の意味を読み取ったりする能力と共に、文字を用いた式の四則計算に課題がある。

《学習指導にあたって》

2つ以上の文字を含む等式を、ある文字について解く場面を設定し、等式の性質などを用いて目的に応じて変形できるように指導する。

絶対値の意味を理解している

●具体的な場面を通して正の数と負の数について理解し、その四則計算ができるようにすると共に、正の数と負の数を用いて表現し考察することができるようにすることに課題がある。

《学習指導にあたって》

数直線上における正の数と負の数の範囲で、原点からの距離が絶対値であることを理解できるように指導する。

数量の大小関係を不等式に表すことができる

●文字を用いて数量の関係や法則などの式に表現したり式の意味を読み取ったりする能力を培うと共に、文字を用いた式の計算に課題がある。

《学習指導にあたって》

事象において比べようとする数量に着目し、それらを数や文字を用いた式で表し、不等号を用いて数量の大小関係を適切に表すことができるように指導する。

2つの三角形が合同であるために必要な辺や角の相当関係について理解している

●図形の合同について理解し図形についての見方を深めると共に、図形の性質を三角形の合同条件などを基にして確かめ、論理的に考察し表現することに課題がある。

《学習指導にあたって》

2つの三角形について、どのような条件があればそれらが合同になるかを考察する場面を設定し、辺や角に着目して三角形の合同条件を理解できるよう指導する。

多数回の試行の結果から得られる確率の意味を理解している

●確率の必要性と意味を理解し、簡単な場合について確率を求めることに課題がある。

《学習指導にあたって》

確率の意味について、実験を通して実感を伴って理解できるようにする。

実験を通して、ある試行を多数回くり返したときに、ある事象が起きる回数の全体に対する割合が近づいていく値として、実感を伴って確率の意味を理解できるよう指導する。

四角錐の体積は、それと底面が合同で高さが等しい四角柱の体積の3分の1であることを理解している

●観察、操作や実験などの活動を通して、空間図形についての理解を深めると共に、図形の計量についての能力に課題がある。

《学習指導にあたって》

柱体と錐体の体積の関係を理解できるようにするために、柱体の体積と錐体の体積の関係を予想し、その予想が正しいかどうかを、模型を用いた実験による測定を行って確かめる場面を設定する。

⑨ 中学校数学B(主として活用)

【学習指導要領の領域別集計結果】

区 分	正答率 (%)		
	稚内市	全国	全国との比較
数と計算	★	51.4	▼▼
図形	★	46.7	▼▼
関数	★	52.8	▼▼
資料の活用	★	38.0	▼▼

【設問別集計結果】

設問 番号	設問の概要	出題の趣旨	正答率 (%)		
			稚内市	全国	全国との比較
1 (1)	全校生徒300人に対する上位4曲を回答した生徒数の割合を求める	与えられた情報から必要な情報を選択し、的確に処理することができる	★	55.7	▼▼
1 (2)	放送計画で、1日目がA、2日目がBになる確率を求める	与えられた情報を分類整理し、不確実な事象の起こりやすさの傾向を捉えることができる	★	43.9	▼
1 (3)	全校よりも1年生の回答用紙によるくじ引きの方が曲Fが選ばれやすいことの原因を確率を用いて説明する	不確実な事象の起こりやすさの傾向を捉え、判断の理由を説明することができる	★	36.2	▼▼
2 (1)	はじめの数が10のときの計算結果を求める	問題場面における考察の対象を明確に捉えることができる	★★★★★	89.5	▼
2 (2)	はじめの数としてどんな整数を入れて計算しても、計算結果はいつでも4の倍数になる説明を完成する	事柄が成り立つ理由を、構想を立てて説明することができる	★	37.5	▼▼
2 (3)	計算の順番を入れ替えたものを選択し、その計算結果が何の倍数になるかを求める	3つの計算の順番を入れ替えたときの計算結果を数学的に表現することができる	★★★	68.3	▼▼
3 (1)	列車の運行のようすが直線で表されていることの前提となっている事柄を選ぶ	事象を理想化・単純化することで表された直線のグラフを事象に即して解釈することができる	★★★	67.6	▼
3 (2)	グラフから、列車のすれ違いが起こる地点のA駅からの道のりを求める	グラフから必要な情報を読み取り、事象を数学的に解釈することができる	★★★	77.7	▼▼
3 (3)	A駅からの道のりが6kmの地点において、列車Aが通ってから列車Bが通るまでの時間をグラフから求める方法を説明する	事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる	★	13.2	▼

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	正答率 (%)		
			稚内市	全国	全国との比較
4 (1)	証明されたことから、新たにわかることを選ぶ	証明を振り返り、証明した事柄を基にして、新たな性質を見いだすことができる	★	55.4	▼▼
4 (2)	平行四辺形A B C Dの外側に2つの点E, Fを取っても、四角形E B F Dは平行四辺形となることの証明を完成する	発展的に考え、条件を変えた場合について、証明の一部を書き直すことができる	★	42.4	▼▼
4 (3)	平行四辺形A B C Dを正方形A B C Dに変えたときの四角形E B F Dがどのような四角形になるかを説明する	付加された条件の下で、新たな事柄を見だし、説明することができる	★	42.3	▼▼
5 (1)	S社の団体料金が通常料金の何%引きになっているかを求める式を書く	与えられた情報から必要な情報を選択し、的確に処理することができる	★	16.0	▼
5 (2)	通常料金を a としたときの団体料金の10人分が通常料金の何人分にあたるかを求める計算からわかることを選び、その理由を説明する	里奈さんの計算を解釈し、数学的な表現を用いて説明することができる	★	10.4	▼

【下位層の割合】

区分	正答数	全国の下位約25%と同じ正答数の範囲に含まれる児童の割合 (%)		
		稚内市	全国	全国との比較
平成28年度	15問中3問以下	32.2	21.3	10.9
平成29年度	15問中4問以下	32.9	22.5	10.4
平成30年度	14問中3問以下	32.3	22.8	9.5

【課題と改善点】

事柄が成り立つ理由を、構想を立てて説明することができる

●具体的な事象の中に数量の関係を見だし、文字を用いて式に表現したり式の意味を読み取ったりする能力と共に、文字を用いた式の四則計算をすることに課題がある。

《学習指導にあたって》

事柄が一般的に成り立つ理由を説明するために、文字式や言葉を用いて根拠を明らかにできるように指導する。

グラフから必要な情報を読み取り、事象を数学的に解釈することができる

●具体的な事象の中から2つの数量を取り出し、それらの変化や対応を調べることを通して、一次関数について理解すると共に、関数関係を見だして表現し考察する能力に課題がある。

《学習指導にあたって》

問題解決において用いるグラフを、事象に即して捉え直す活動を取り入れ、グラフの交点を事象に即して解釈できるように指導する。

与えられた情報から必要な情報を選択し、的確に処理することができる

●ヒストグラムや代表値を用いて、資料の傾向を捉えて説明することに課題がある。

《学習指導にあたって》

実生活の場面で、事象を目的に応じて数値化して判断する場面を設定し、与えられた情報から必要な情報を選択し、的確に処理することができるようにする。

発展的に考え、条件を変えた場合について、証明の一部を書き直すことができる

●図形の合同について理解し、図形についての見方を深めるとともに、論理的に考察し表現することに課題がある。

《学習指導にあたって》

証明を読み、結論を導くために欠かせない条件や性質を捉える場面を設定し、問題の条件を変えて、発展的に考えることができるように指導する。このような過程を経験することで、単に条件を変えて発展的に考えるというだけでなく、書いた証明をふり返り、ある条件に着目して意図的に条件を変えるなどの考え方を持つ機会にする。

証明を振り返り、証明した事柄を基にして、新たな性質を見いだすことができる

●図形の合同について理解し図形についての見方を深めるとともに、図形の性質を合同条件などを基にして確かめ、論理的に考察し表現することに課題がある。

《学習指導にあたって》

証明を書くとともに、証明を読む場面を設定し、証明の結果や過程を振り返り、新たな性質を見いだすことができるように指導する。

付加された条件の下で、新たな事柄を見だし、証明することができる

●図形の合同について理解し図形についての見方を深めるとともに、図形の性質を合同条件などを基にして確かめ、論理的に考察し表現することに課題がある。

《学習指導にあたって》

新たに条件を加えた際に見いだした事柄の前提にあたる条件と、それによって説明される結論を明確にして表現する活動を取り入れ、付加した条件の下で、見いだした事柄を数学的に表現できるように指導する。

⑩ 中学校理科

【学習指導要領の領域別集計結果】

区 分	正答率 (%)		
	稚内市	全国	全国との比較
数と計算	★★★	74.4	▼▼
図形	★★★	65.0	▼
関数	★★★	72.5	▼
資料の活用	★★	57.8	▼

【設問別集計結果】

設問 番号	設問の概要	出題の趣旨	正答率 (%)		
			稚内市	全国	全国との比較
1 (1)	光の反射を利用した「テレプロンプター」のモデルを作って科学的に探究する場面において、光の直進や反射の幾何光学的な規則性についての知識・技能を活用することができるかどうかをみる	光の反射の幾何光学的な規則性についての知識・技能を活用できる	★★	61.7	▼▼
1 (2)		テレプロンプターのモデルの光の道筋を検討して改善し、適切な光の道筋を説明することができる	★★★	73.7	▼▼
2 (1)	理科通信のアサリに興味をもち、アサリが出す砂の質量は何に関係しているのかを科学的に探究する学習場面において、水溶液の濃さや無脊椎動物に関する知識、問題解決の技能を活用できるかどうかをみる	無脊椎動物と軟体動物の体のつくりの特徴に関する知識を活用できる	★★★★★	86.2	△△
2 (2) 低い濃度		濃度が異なる食塩水のうち、濃度の低いものを指摘できる	★★★	76.5	▼
2 (2) 3.0%の濃度		濃度が異なる食塩水のうち、特定の質量パーセント濃度のものを指摘できる	★★	46.9	△
2 (3)		「アサリが出した砂の質量は明るさに関係しているとはいえない」と考察した理由を指摘できる	★★★	79.7	▼
2 (4)		1つの要因を変えるとその他にも変わる可能性のある要因を指摘できる	★★	61.3	▼

設問 番号	設問の概要	出題の趣旨	正答率 (%)		
			稚内市	全国	全国との比較
3 (1)	コンピュータを使ったシミュレーションで台風の進路や風向を科学的に探究する場面において、日本の天気の特徴に関する知識と観測方法や記録の仕方に関する知識・技能、条件制御の知識・技能を活用することができるかどうかをみる	風向の観測方法や記録の仕方に関する知識・技能を活用できる	★	37.5	▼▼
3 (2)		太平洋高気圧（小笠原気団）の特徴についての知識を身に付けている	★★★★	67.3	▼
3 (3)		シミュレーションの結果について考察した内容を検討して改善し、台風の進路を決める条件を指摘できる	★	52.3	▼▼
4 (1)	図書便りに紹介されていたファラデーの「ロウソクの科学」を読んで、ガスバーナーを使った燃焼を科学的に探究する場面において、実験器具の操作や化学変化と原子・分子、条件制御の知識・技能を活用することができるかどうかをみる	ガスバーナーの空気の量を調節する場所を指摘できる	★★★★	73.4	▼▼
4 (2)		炎の色と金網に付くススの量を調べる実験を計画する際に、「変えない条件」を指摘できる	★	44.1	△
4 (3)		化学変化を表したモデルを検討して改善し、原子や分子のモデルで説明できる	★	49.4	▼▼
5 (1)	「運転中に運転士に話しかけるとブレーキを踏むのが遅れるのではないか」という予想を科学的に探究する場面において、刺激と反応についての知識と自然の事物・現象を実験の装置や操作に対応させたモデル実験の知識・技能を活用することができるかどうかをみる	神経系の働きについての知識を身に付けている	★	57.2	▼▼
5 (2)		反応の時間を測定する装置や操作を刺激と反応に対応させた実験を計画できる	★★★★	62.8	▼
6 (1)	自転車のライトの豆電球型のLEDが豆電球に比べて明るく点灯したことに疑問をもって科学的に探究する場面において、電流・電圧と抵抗及び電力と発生する光の明るさとの関係に関する知識・技能を活用することができるかどうかをみる	電流計は回路に直列に接続するという技能及び電流計の電気用図記号の知識を身に付けている	★★★★	70.5	▼▼
6 (2) 電流		実験の結果を示した表から電流の値を読み取ることができる	★★★★	77.2	▼
6 (2) 抵抗		オームの法則を使って、抵抗の値を求めることができる	★	51.9	▼
6 (3)		豆電球と豆電球型のLEDの点灯の様子と電力との関係を指摘できる	★★★★★	91.4	▼

設問 番号	設問の概要	出題の趣旨	正答率 (%)		
			稚内市	全国	全国との比較
7 (1)	緊急地震速報による避難訓練の後、地震を科学的に探究する場面において、地震の揺れの伝わり方や光と音の伝わり方に関する知識・技能を活用することができるかどうかをみる	地震の揺れの強さが震度であること、S波による揺れが主要動であることの知識を身に付けている	★	55.1	▼▼
7 (2)		緊急地震速報を受け取ってからS波による揺れが始まるまでの時間が最も長い観測地点を指摘できる	★★★★	78.5	▼▼
7 (3)		初期微動継続時間の長さや震源からの距離の関係の知識と音の速さに関する知識を活用できる	★★★★★	94.4	▼
8 (1)	火を使わないで発熱する商品の仕組みを科学的に探究して実験ノートにまとめる場面において、化学変化と熱についての知識と問題解決の知識・技能を活用することができるかどうかをみる また、探究の過程を振り返り、新たな疑問をもち問題を見だし探究を深めようとしているかどうかをみる	アルミニウムの原子の記号の表し方についての知識を身に付けている	★★★★★	83.5	△
8 (2)		発熱パックに入っているアルミニウムが水の温度変化に関係していることを指摘できる	★★★★	72.0	▼
8 (3)		探究の過程を振り返り、新たな疑問をもち問題を見だし探究を深めようとしている アルミニウムは水の温度変化に関係していることについての新たな問題を見いだすことができる	★★★★	74.0	▼
9 (1)	部屋に見立てた容器に植物を入れて湿度の変化を科学的に探究する場面において、蒸散と湿度に関する知識、問題解決の知識・技能を活用することができるかどうかをみる	植物の葉などから水蒸気が出る働きが蒸散であるという知識を身に付けている	★★★★★	88.0	△
9 (2)		植物を入れた容器の中の湿度が高くなる蒸散以外の原因を指摘できる	★	19.4	▼

【下位層の割合】

区分	正答数	全国の下位約25%と同じ正答数の範囲に含まれる児童の割合 (%)		
		稚内市	全国	全国との比較
平成24年度	26問中9問以下	36.9	26.6	10.3
平成27年度	25問中8問以下	34.7	23.9	10.8
平成30年度	27問中13問以下	27.9	20.9	7.0

【全国平均を超えた設問】

無脊椎動物と軟体動物の体のつくりの特徴に関する知識を活用できる

濃度が異なる食塩水のうち、特定の質量パーセント濃度のものを指摘できる

炎の色と金網に付くススの量を調べる実験を計画する際に、「変えない条件」を指摘できる

アルミニウムの原子の記号の表し方についての知識を身に付けている

植物の葉などから水蒸気が出る働きが蒸散であるという知識を身に付けている

【課題と改善点】

化学変化を表したモデルを検討して改善し、原子や分子のモデルで説明できる

●2種類の物質を化合させる実験を行い、反応前とは異なる物質が生成することを見いだすとともに、化学変化は原子や分子のモデルで説明できること、化合物の組成は化学式で表されること及び化学変化は化学反応式で表されることへの理解に課題がある。

《学習指導にあたって》

自然の事物・現象を科学的に探求する上で、物質や化学変化を原子や分子のモデルで表し、化学変化に関する知識・技能を活用して、検討して改善することは大切である。

自然の物質・現象や日常生活で見られる化学変化を原子や分子のモデルで提示し、化学変化の前後で原子の数や種類は変化しないという知識を活用して、そのモデルを検討して改善する学習場面を設定する。

神経系の働きについての知識を身に付けている

●動物が外界の刺激に適切に反応している様子の観察を行い、その仕組みを感覚器官、神経系及び運動器官のつくりと関連付けて捉えることに課題がある。

《学習指導にあたって》

動物が外界の刺激に適切に反応する仕組みを感覚器官、神経系及び運動器官のつくりと働きとを関連付けて捉える上で、感覚器官や神経系の基礎的・基本的な知識を習得することが大切である。

外界からの刺激が受け入れられ、感覚神経、中枢神経、運動神経を介して反応が起こることを、観察・実験や日常の経験などを通して理解する学習場面を設定する。

光の反射の幾何光学的な規則性についての知識・技能を活用できる

●光の反射や屈折の実験を行い、光が水やガラスなどの物質の境界面で反射、屈折するときの規則性を見いだすことに課題がある。

《学習指導にあたって》

光の反射の幾何光学的な規則性について、習得した知識・技能を活用できるようにすることは大切である。活用できる知識・技能を身につけるために、科学的に探求する学習活動を通して知識・技能を習得する学習場面を設定する。

テレプロンプターのモデルの光の道筋を検討して改善し、適切な光の道筋を説明することができる

●光の反射や屈折の実験を行い、光が水やガラスなどの物質の境界面で反射、屈折するときの規則性を見いだすことに課題がある。

《学習指導にあたって》

身近な事物・現象を科学的に探求する上で、観察・実験から得られた情報と習得した知識・技能とを活用して、考察を検討して改善できるようにすることが大切である。個人の考察をグループで検討して改善し、考察をより妥当なものにすることが大切である。

緊急地震速報を受け取ってから、S波による揺れが始まるまでの時間が最も長い観測地点を指摘できる

●地震の体験や記録を基に、その揺れの大きさや伝わり方の規則性に気付くとともに、地震の原因を地球内部の働きと関連づけて捉え、地震に伴う土地の変化の様子を理解することに課題がある。

《学習指導にあたって》

地震に関する知識を活用し、緊急地震速報の情報を分析して解釈できるようにする。

緊急地震速報を受けた際、状況に応じて行動できることは、自他の安全や生命を守る上で大切である。そのためには、地震に関する知識を活用して、緊急地震速報の情報を分析して解釈できるようにすることが大切である。過去に起きた各地の地震の記録と、その際の緊急地震速報との関係を見いだす学習場面を設定することが考えられる。

(2) 学習状況調査(質問紙調査)

① 小学校児童質問紙調査

○「高い傾向」を示した質問項目

設問 番号	質問事項	稚内市	全国	差
(11)	家で、学校の宿題をしていますか	98.2	97.1	1.1
(5)	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	93.6	96.8	▲ 3.2
(6)	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	90.3	95.2	▲ 4.9
(52)	5年生のとき、理科の授業がおもしろいと思いましたか	89.9	87.5	2.4
(7)	朝食を毎日食べていますか	89.8	94.5	▲ 4.7
(46)	理科の授業では、理科室で観察や実験をどのくらい行いましたか	89.8	89.1	0.7
(47)	観察や実験を行うことは好きですか	88.7	89.8	▲ 1.1
(28)	算数の勉強は大切だと思いますか	88.7	92.1	▲ 3.4
(40)	理科の授業の内容はよく分かりますか	88.3	89.4	▲ 1.1
(33)	算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	87.6	90.3	▲ 2.7
(9)	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	86.0	88.8	▲ 2.8
(62)	調査問題の解答時間は十分でしたか(理科)	85.7	90.1	▲ 4.4
(26)	テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか(携帯電話やスマートフォンを使ってインターネットのニュースを見る場合も含む)	85.4	86.2	▲ 0.8
(38)	理科の勉強は好きですか	84.2	83.5	0.7
(36)	算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか	82.0	85.8	▲ 3.8
(4)	学校のきまりを守っていますか	81.6	89.5	▲ 7.9
(39)	理科の勉強は大切だと思いますか	81.6	85.4	▲ 3.8

●「低い傾向」を示した質問項目

設問番号	質問事項	稚内市	全国	差
(44)	将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思いませんか	23.7	26.1	▲ 2.4
(25)	新聞を読んでいますか	24.1	19.9	4.2
(24)	地域の大人（学校や塾・習い事の先生を除く）に勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んだりすることがありますか	30.4	41.6	▲ 11.2
(22)	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか	42.9	49.9	▲ 7.0
(32)	算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	50.0	64.4	▲ 14.4
(10)	家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか	54.1	67.6	▲ 13.5
(27)	算数の勉強は好きですか	54.6	64.0	▲ 9.4
(21)	地域や社会で起こっている問題や出来事に興味がありますか	54.9	63.8	▲ 8.9
(42)	理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	56.7	64.7	▲ 8.0
(56)	5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思いませんか	57.1	61.0	▲ 3.9
(13)	家で予習・復習やテスト勉強などの自学自習において、教科書を使いながら学習していますか	58.3	69.9	▲ 11.6
(12)	家で、学校の授業の予習・復習をしていますか	58.3	62.6	▲ 4.3
(45)	理科の授業で、自分の考えをまわりの人に説明したり発表したりしていますか	58.7	54.5	4.2
(19)	5年生までに受けた授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会があったと思いませんか	59.7	74.4	▲ 14.7

□その他

質問(1):自分には、よいところがあると思いませんか

区分	当てはまる	どちらかといえば、当てはまる	どちらかといえば、当てはまらない	当てはまらない
稚内市	28.2	47.4	13.2	10.9
全国	41.2	42.8	11.6	4.3

質問(14): 学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか
（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）

区分	3時間以上	2時間以上、3時間より少ない	1時間以上、2時間より少ない	30分以上、1時間より少ない	30分より少ない	全くしない
稚内市	4.5	6.0	34.6	36.1	15.4	3.4
全国	12.5	16.8	36.9	23.8	7.4	2.5

質問(15)：学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか
（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）

区分	2時間以上	1時間以上, 2時間より少ない	30分以上, 1時間より少ない	10分以上, 30分より少ない	10分より少ない	全くしない
稚内市	8.3	10.9	15.0	23.3	11.7	30.5
全国	7.8	11.5	21.8	25.1	14.9	18.7

質問(23)：地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか

区分	参加したことがある	参加したことがない	分からない
稚内市	30.8	31.2	36.5
全国	36.1	26.5	36.2

質問(25)：新聞を読んでいますか

区分	ほぼ毎日読んでいる	週に1～3回程度読んでいる	月に1～3回程度読んでいる	ほとんど、または、全く読まない
稚内市	11.3	12.8	20.7	55.3
全国	7.4	12.5	19.0	60.9

質問(26)：テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか（携帯電話やスマートフォンを使ってインターネットのニュースを見る場合も含む）

区分	よく見る	時々見る	あまり見ない	ほとんど、または、全く見ない
稚内市	52.3	33.1	9.0	5.3
全国	57.3	28.9	8.4	5.1

質問(37)：今回の算数の問題について、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありましたが、どのように解答しましたか

区分	全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した	書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中で諦めたりしたものがあった	書く問題は全く解答しなかった
稚内市	62.4	35.0	2.3
全国	70.6	26.9	1.8

質問(51)：今回の理科の問題について、解答を文章などで書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか

区分	全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した	書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中で諦めたりしたものがあった	書く問題は全く解答しなかった
稚内市	72.9	25.2	1.1
全国	77.3	20.3	1.8

※「□その他」の質問は、回答に「その他」、「無回答」がある場合、割合の合計が100%とならないことがあります。

② 中学校生徒質問紙調査

○「高い傾向」を示した質問項目

設問 番号	質問事項	稚内市	全国	差
(59)	調査問題の解答時間は十分でしたか（理科）	96.8	92.3	4.5
(6)	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	96.7	94.9	1.8
(55)	調査問題の解答時間は十分でしたか（国語A）	96.0	92.1	3.9
(46)	理科の授業では、理科室で観察や実験をどのくらい行いましたか	95.2	87.1	8.1
(5)	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	94.8	95.5	▲ 0.7
(4)	学校の規則を守っていますか	94.3	95.1	▲ 0.8
(7)	朝食を毎日食べていますか	94.0	91.9	2.1
(57)	調査問題の解答時間は十分でしたか（数学A）	92.7	91.5	1.2
(9)	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	91.5	90.3	1.2
(30)	数学ができるようになりたいと思いますか	91.1	92.5	▲ 1.4
(2)	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	90.7	82.2	8.5
(56)	調査問題の解答時間は十分でしたか（国語B）	87.4	82.2	5.2
(26)	テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか(携帯電話やスマートフォンを使ってインターネットのニュースを見る場合も含む)	86.7	86.6	0.1
(36)	数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか	83.0	80.6	2.4
(28)	数学の勉強は大切だと思いますか	82.6	83.6	▲ 1.0
(54)	生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか	82.6	76.3	6.3
(11)	家で、学校の宿題をしていますか	81.8	91.6	▲ 9.8

●「低い傾向」を示した質問項目

設問番号	質問事項	稚内市	全国	差
(25)	新聞を読んでいますか	11.7	13.9	▲ 2.2
(44)	将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思いませんか	16.2	22.2	▲ 6.0
(32)	数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	26.3	38.7	▲ 12.4
(24)	地域の大人（学校や塾・習い事の先生を除く）に勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んだりすることがありますか	29.9	25.5	4.4
(22)	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか	31.6	38.7	▲ 7.1
(42)	理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	34.1	45.4	▲ 11.3
(27)	数学の勉強は好きですか	43.3	53.9	▲ 10.6
(45)	理科の授業で、自分の考えや考察をまわりの人に説明したり発表したりしていますか	50.6	41.4	9.2
(43)	理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	51.9	55.7	▲ 3.8
(53)	1,2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思いませんか	53.8	53.8	0.0
(21)	地域や社会で起こっている問題や出来事に興味がありますか	55.5	59.3	▲ 3.8
(10)	家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか	56.7	52.1	4.6
(50)	理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えていますか	59.1	59.0	0.1

□その他

質問(11)：家で、学校の宿題をしていますか

区分	している	どちらかといえば、している	あまりしていない	全くしていない
稚内市	58.3	23.5	11.7	6.5
全国	68.5	23.1	6.4	1.9

質問(14)：学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか
（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）

区分	3時間以上	2時間以上、3時間より少ない	1時間以上、2時間より少ない	30分以上、1時間より少ない	30分より少ない	全くしない
稚内市	2.0	10.9	38.1	27.9	11.3	9.7
全国	10.5	25.9	34.2	16.6	7.9	4.9

質問(15)：学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか
（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）

区分	2時間以上	1時間以上、2時間より少ない	30分以上、1時間より少ない	10分以上、30分より少ない	10分より少ない	全くしない
稚内市	2.8	7.7	16.6	22.3	13.4	36.8
全国	6.1	8.7	16.1	22.6	13.5	32.9

質問(23)：地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか

区分	参加したことがある	参加したことがない	分からない
稚内市	32.8	24.3	42.5
全国	51.8	21.8	26.2

質問(25)：新聞を読んでいますか

区分	ほぼ毎日読んでいる	週に1～3回程度読んでいる	月に1～3回程度読んでいる	ほとんど、または、全く読まない
稚内市	3.2	8.5	17.0	70.9
全国	4.9	9.0	15.3	70.4

質問(26)：テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか（携帯電話やスマートフォンを使ってインターネットのニュースを見る場合も含む）

区分	よく見る	時々見る	あまり見ない	ほとんど、または、全く見ない
稚内市	57.1	29.6	8.1	4.5
全国	52.4	34.2	8.6	4.1

質問(37)：今回の数学の問題について、解答を言葉や数、式を使って説明する問題がありましたが、最後まで解答を書こうと努力しましたか

区分	全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した	書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中で諦めたりしたものがあつた	書く問題は全く解答しなかった
稚内市	48.2	44.9	6.5
全国	55.5	39.6	4.7

質問(51)：今回の理科の問題について、解答を文章などで書く問題がありましたが、最後まで解答を書こうとどりよくしましたか。

区分	全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した	書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中で諦めたりしたものがあつた	書く問題は全く解答しなかった
稚内市	55.9	42.1	1.2
全国	62.8	32.9	3.8

※「□その他」の質問は、回答に「その他」、「無回答」がある場合、割合の合計が100%とならないことがあります。

(3) 質問紙調査票の項目と正答率との関係

① 小学校調査(抜粋)

質問番号	質問事項	平均正答率	
		肯定	否定
(4)	学校のきまりを守っていますか	55.8	53.9
(7)	朝食を毎日食べていますか	55.1	31.4
(8)	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	57.8	41.2
(9)	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	56.2	33.8
(10)	家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか	59.1	45.2
(12)	家で、学校の授業の予習・復習をしていますか	60.7	40.1
(15)	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）	60.0	47.9

② 中学校調査(抜粋)

質問番号	質問事項	平均正答率	
		肯定	否定
(4)	学校の規則を守っていますか	59.5	31.3
(7)	朝食を毎日食べていますか	59.2	55.9
(8)	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	58.7	51.8
(9)	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	58.6	53.4
(10)	家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか	58.7	58.7
(11)	家で、学校の宿題をしていますか	60.0	51.8
(12)	家で、学校の授業の予習・復習をしていますか	63.1	57.0
(15)	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）	62.4	56.1

- ☞ 規則正しい生活習慣は学力にも良い影響を与えています。
- ☞ 家庭での学習習慣づけが重要です。
- ☞ スマートフォンや携帯電話の使用ルールや約束ごとを守ることが大切です。

「規則正しい生活習慣の育成」、「家庭学習の習慣化」は、学校での指導に加え、各家庭との一層の連携・協力が必要です。

(4) 学校調査 (質問紙調査)

① 小学校調査(抜粋)

質問 番号	質問事項	肯定	
		稚内市	全国
(12)	調査対象学年の児童は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか	81.9	89.4
(21)	前年度までに、近隣等の中学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行いましたか	54.6	63.1
(25)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学習規律（私語をしない、話をしている人の方を向いて聞く、聞き手に向かって話をする、授業開始のチャイムを守るなど）の維持を徹底しましたか	90.9	97.7
(60)	保護者や地域の方が学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営などの活動に参加していますか	100.0	97.7
(63)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、保護者に対して児童の家庭学習を促すような働きかけを行いましたか（国語／算数共通）	100.0	97.2
(64)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図りましたか（国語／算数共通）	90.9	91.6
(69)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、理科の指導として、家庭学習の課題（宿題）を与えましたか	9.1	45.7
(77)	前年度までに、近隣等の中学校と、授業研究を行うなど、合同して研修を行いましたか	90.9	69.5
(80)	学校全体の言語活動の実施状況や課題について、全教職員の間で話し合ったり、検討したりしていますか	90.9	93.1
(82)	学級運営の状況や課題を全教職員の間で共有し、学校として組織的に取り組んでいますか	100.0	98.5

② 中学校調査(抜粋)

質問 番号	質問事項	肯定	
		稚内市	全国
(12)	調査対象学年の生徒は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか	100.0	94.6
(20)	前年度までに、近隣等の小学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行いましたか	85.7	69.2
(24)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、学習規律（私語をしない、話をしている人の方を向いて聞く、聞き手に向かって話をする、授業開始のチャイムを守るなど）の維持を徹底しましたか	85.8	98.3
(57)	保護者や地域の方が学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営などの活動に参加していますか	100.0	90.4
(60)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、保護者に対して生徒の家庭学習を促すような働きかけを行いましたか（国語／数学共通）	85.7	91.9
(61)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図りましたか（国語／数学共通）	85.7	87.1
(66)	調査対象学年の生徒に対する理科の指導として、前年度までに、家庭学習の課題（宿題）を与えましたか	57.2	76.6
(74)	前年度までに、近隣等の小学校と、授業研究を行うなど、合同して研修を行いましたか	100.0	76.5
(77)	学校全体の言語活動の実施状況や課題について、全教職員の間で話し合ったり、検討したりしていますか	100.0	86.0
(79)	学級運営の状況や課題を全教職員の間で共有し、学校として組織的に取り組んでいますか	100.0	96.9

3 小中学校の状況及び学力向上策

【小学校】

■ 稚内市内小学校の状況及び学力向上策 (学校数: 11校、児童数: 266人)

【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)

【児童質問紙調査】

家で、学校の宿題をしていますか(している)

今住んでいる地域の行事に参加していますか

地域	当てはまる	どちらかといえば、当てはまる	どちらかといえば、当てはまらない	当てはまらない
稚内市	52.6	24.4	12.0	10.2
全道	29.8	26.1	20.7	23.3
全国	35.9	26.8	19.2	18.0

【学校質問紙調査】

平成29年度の全国学力・学習状況調査の分析結果について、近隣等の中学校と成果や課題を共有しましたか

地域	よく行った	どちらかといえば、行った	あまり行ってない	全く行ってない
稚内市	36.4	45.5	9.1	9.1
全道	27.8	43.6	22.6	5.6
全国	17.1	46.2	30.7	6.0

保護者に対して児童の家庭学習を促すような働きかけを行いましたか(よく行った)

【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Aでは、「話すこと・聞くこと」で全国に最も近くなっている。 ○ 算数Aでは、「量と測定」で全国に最も近くなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 保護者に対して児童の家庭学習を促すような働きかけを行ったことにより、家庭と連携した学習習慣確立の取組の充実が図られ、「家で、学校の宿題をしている」と回答した児童の割合が、前年度を上回ったと考えられる。
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「家で、学校の宿題をしている」と回答した児童の割合が、前年度より増加している。 ○ 「今住んでいる地域の行事に参加している」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教育委員会の施策として、学びの連続性を確保するための小中連携教育の推進を行ったことにより、中学校区をまとまりとして連携した取組の充実が図られ、「全国学力・学習状況調査の分析結果について、近隣等の中学校と成果や課題を共有した」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「平成29年度の全国学力・学習状況調査の分析結果について、近隣等の中学校と成果や課題を共有した」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「保護者に対して児童の家庭学習を促すような働きかけをよく行った」と回答した学校の割合が、前年度より増加している。 	

【稚内市の学力向上策】

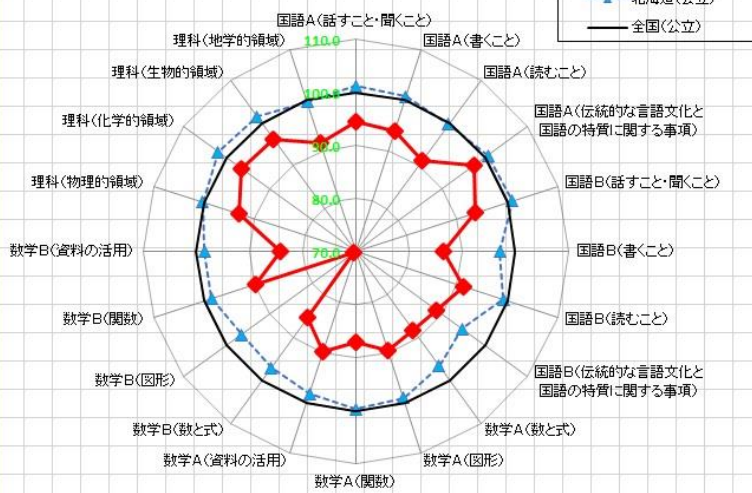
- ◎ 第3、4学年を対象とした学校教育指導員(退職教員等)による「放課後学力グングン塾」の実施
- ◎ 第1、2学年を対象とした市費負担教員の配置による少人数指導の実施
- ◎ 市費による特別支援教育支援員と学校図書協力員の配置
- ◎ ICT機器活用推進
- ◎ 学生ボランティアによる学習支援
- ◎ 授業改善推進チーム活用事業による授業改善の推進
- ◎ 学びの連続性を確保するための小中連携教育の推進

【中学校】

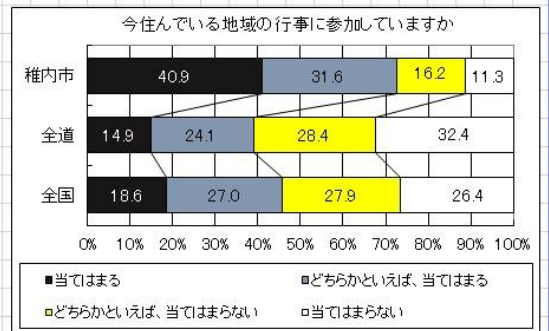
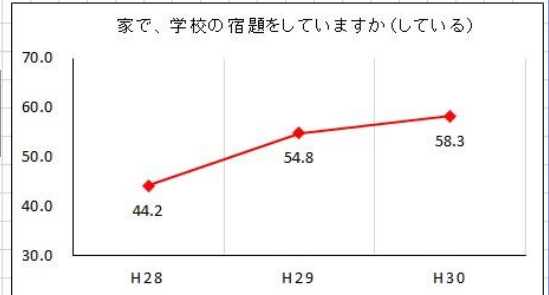
■ 稚内市内中学校の状況及び学力向上策（学校数：7校、生徒数：247人）

【教科全体の状況】

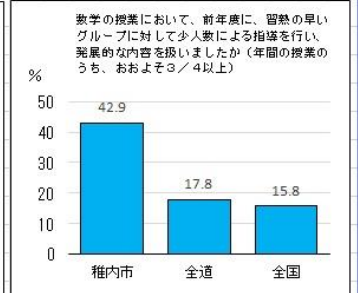
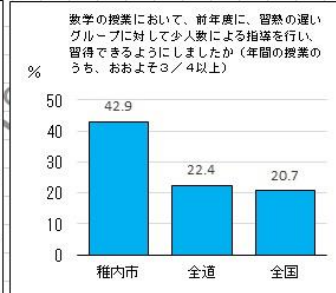
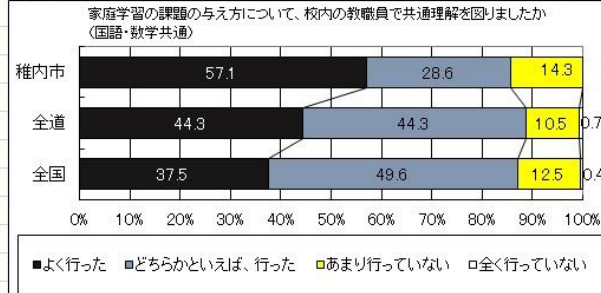
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
 （市町村の平均正答率÷全国（公立）の平均正答率×100で算出）



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

項目	分析内容
教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Aでは、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国に最も近くなっている。 ○ 理科では、「化学的領域」で全国に最も近くなっている。
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「家で、学校の宿題をしている」と回答した生徒の割合が、前年度より増加している。 ○ 「今住んでいる地域の行事に参加している」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「数学の授業において、年度の授業のうち、おおよそ3/4以上、習熟の遅いグループや早いグループに対して少人数による指導を行い、習得できるようにしたり、発展的な内容を扱ったりした」と回答した学校が、全国及び全道を上回っている。

【稚内市の学力向上策】

- ◎ 「夢広がる学校づくり推進事業」による学校独自のテキスト(問題集)の作成などの取組
- ◎ 土曜授業の推進
- ◎ 学生ボランティアによる学習支援
- ◎ 市費による特別支援教育支援員と学校図書協力員の配置
- ◎ 学びの連続性を確保するための小中連携教育の推進



平成 30 年度 全国学力・学習状況調査結果
～概要と課題、そして改善に向けて～

平成 30 年 11 月作成

稚内市教育委員会学校教育課学校教育グループ

〒097-8686 稚内市中央 3 丁目 13 番 15 号

電話 0162(23)6519 FAX 0162(22)7913